

化学療法目的で入院した肺癌患者の栄養管理に関する管理栄養士病棟常駐の効果検討

■ 研究の対象となる方

2018年4月～2020年3月に化学療法目的で5西病棟に入院された方

■ 目的

2018年の人口動態統計による癌死亡データでは、肺癌が死亡数の1位を占めています。治療法の1つである化学療法は、その副作用から食欲低下がみられる例も多く、化学療法を継続して行うためにも栄養状態の維持が必要とされています。

当院では2014年10月から管理栄養士の病棟常駐を順次開始しました。今回、化学療法目的で入院した肺癌患者さんを対象に、病棟常駐前後の栄養管理に関する項目の比較・常駐の効果について検討します。

■ 実施期間

2020年7月30日～2021年3月31日

■ 研究に使用する情報

身長、体重、年齢、性別、主病名、入院時Alb値、入院期間中の食事摂取量など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 臨床栄養室 山口 心美（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上